平成24年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年2月9日

上場会社名　株式会社 シャルレ　　上場取引所　大
コード番号　9885　URL　http://www.charle.co.jp/
代表者　(役職名) 代表取締役社長　(氏名) 岡本　雅文
問合せ先責任者 (役職名) 経理部長　(氏名) 奥平　和良　TEL 078-792-8565

四半期報告書提出予定日　平成24年2月14日
配当支払開始予定日　―
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　無
四半期決算説明会開催の有無　：　無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第3四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)　(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第3四半期	17,762	△2.9	1,422	△28.7	1,451	△28.4	1,292	△35.5
23年3月期第3四半期	18,294	△1.0	1,993	109.6	2,026	104.8	2,003	269.1

(注)包括利益　24年3月期第3四半期　1,342百万円　(△28.8%)　23年3月期第3四半期　1,886百万円　(―%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第3四半期	67.01	―
23年3月期第3四半期	103.42	―

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第3四半期	24,463	19,908	81.4
23年3月期	24,212	19,241	79.5

(参考) 自己資本　24年3月期第3四半期　19,908百万円　23年3月期　19,241百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	―	0.00	―	30.00	30.00
24年3月期	―	0.00	―		
24年3月期(予想)				30.00	30.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	23,000	△0.7	1,300	△14.6	1,330	△15.1	1,050	△35.5	54.54

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 有
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期3Q	21,034,950 株	23年3月期	21,034,950 株
② 期末自己株式数	24年3月期3Q	1,868,889 株	23年3月期	1,658,643 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期3Q	19,282,258 株	23年3月期3Q	19,376,431 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。なお、この四半期決算短信の開示時点において金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づいておりますが、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。詳細は【添付資料】3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧下さい。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）連結経営成績に関する定性的情報 …… 2
（２）連結財政状態に関する定性的情報 …… 3
（３）連結業績予想に関する定性的情報 …… 3
２．サマリー情報（その他）に関する事項 …… 3
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 …… 3
（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 …… 3
（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 …… 3
３．四半期連結財務諸表 …… 4
（１）四半期連結貸借対照表 …… 4
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 6
四半期連結損益計算書 …… 6
四半期連結包括利益計算書 …… 7
（３）継続企業の前提に関する注記 …… 8
（４）セグメント情報等 …… 8
（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 …… 9
（６）重要な後発事象 …… 9

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）連結経営成績に関する定性的情報

当第３四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災による景気後退から持ち直しの兆しが見え始めるものの、欧州財政危機を背景とした円高の長期化や株価の低迷などの影響により、依然として国内景気の下振れが懸念される状況が続いております。

このような環境のもと、当社企業グループは、国内外における「美と健康」の事業領域を中心とし、人々の日々の生活に新たな『豊かさの基準』を提供する企業として、積極的に事業活動を行ってまいりました。中核事業である国内レディースインナー等販売事業においては、震災の影響により、売上高は大きく減少したものの、その後は回復基調となり、当第３四半期連結会計期間の売上高は前年実績を上回りました。しかしながら、当第３四半期連結累計期間においては、前半の売上高の減少をカバーできず、グループ全体の売上高は前年実績を下回りました。

これらの結果、当第３四半期連結累計期間における当社企業グループの売上高は177億62百万円（対前年同四半期比2.9％減）、営業利益は14億22百万円（同28.7％減）、経常利益は14億51百万円（同28.4％減）、四半期純利益は12億92百万円（同35.5％減）となりました。

(国内レディースインナー等販売事業)

国内レディースインナー等販売事業におきましては、“毎日のくらしに「心おどる感動」と「心やすらぐ安心」を。”を長期的なビジョンに掲げ、「下着のシャルレ」から「美と健康のシャルレ」へとコーポレートブランドイメージのシフトを目指して、研究開発機能を強化し、より多くのお客様に喜んでもらえるために独自性のある商品の提供に積極的に取り組んでまいりました。

商品面におきましては、新たな健康関連分野の商品として、日常生活の中での体調管理をトータルにサポートする商品を順次発売いたしました。10月には「運動」をテーマとした、美しい姿勢と歩き方をサポートするウォーキング用のカットソーやパンツ等の「サポートウォーク ウェア」や独自の設計（特許取得）により足の負担を軽減する足袋型ソックスの「サポートウォーク　ソックス」、更には快適な歩行をサポートする「サポートウォークシューズ」を発売、11月には「体重」をテーマとした、日常生活の動きの中で消費カロリーを増加させる独自設計（特許取得）のインナーとボトムの「ダイエットインナー&ボトム」を発売、12月には「睡眠」をテーマとした、冬場の季節での快眠をサポートする「ねるときインナー」や「全身あったかナイティー」を発売し、いずれも話題性と共に好評を博し、売上高に大きく貢献しました。また、前期より発売し、その着心地のみならず、アウターとしても着用できるカラー展開や手頃な価格帯で多くの愛用者に評価された秋冬季節インナーとボトムの「デイリーサーモ」を新たに紳士用も加えて11月より発売し、販売は順調に推移いたしました。なお、「デイリーサーモ」におきましては、東日本大震災の復興支援の一環として、売上金の一部を支援活動に提供する予定です。

営業施策面におきましては、９月から11月にかけて「シャルレ　チャレンジコンテスト2011」を実施し、ビジネスメンバーのチャレンジ意識の向上および活動意欲の促進を図ることができました。また、ビジネスメンバーの育成力強化を目的とした活動支援に継続的に取り組んできたことにより、ビジネスへの新規参画トレンドに改善の兆しが見えてまいりました。また、化粧品類に関しては、引き続きビジネスメンバーへの販売教育の強化に積極的に取り組んでまいりました。

このように積極的な事業展開を行ってまいりました結果、震災の影響によるビジネスメンバーの販売活動の鈍化はあったものの、その後の販売活動は回復基調となり、当第３四半期連結会計期間の売上高は前年実績を上回りました。しかしながら、前半の売上高の減少をカバーできず、国内レディースインナー等販売事業の売上高は、172億29百万円（対前年同四半期比4.6％減）、営業利益は17億90百万円（同25.9％減）となりました。

(海外レディースインナー等販売事業)

海外レディースインナー等販売事業におきましては、中国の百貨店での店舗販売を上海の旗艦店を中心に、15店舗で行ってまいりました。また、現地の消費者ニーズを反映した新商品の開発・販売、および現地販売スタッフの教育強化に積極的に取り組み、出店後、一定期間を経過している店舗の売上高が順調に推移したことにより、前年実績を上回りました。

これらの結果、売上高は90百万円（同60.7％増）となり、利益面では現地の本部経費等を吸収するまでには至らず、営業損失は67百万円（前年同四半期は1億4百万円の営業損失）となりました。

（ＬＥＤ照明販売事業）

ＬＥＤ照明販売事業におきましては、電力量、ＣＯ２を大幅に削減することにより、次世代社会へ持続可能な地球環境を提供することを使命とし、市場競争が激化する中、付加価値の高い商品・ソリューションを中心とした営業活動を企業や自治体を中心に積極的に行ってまいりました。また、今後の次世代送電網「スマートグリッド関連市場」の拡大を視野に、オフィスビル等の屋内照明への供給電力をネットワーク経由にて統制管理・制御、および各設備系システムとの連携によるオフィス全体の消費電力量の抑制、コスト削減が可能となる世界初のネットワークＬＥＤ照明「Light over Ethernet」ソリューションをシスコシステムズ合同会社、株式会社ＤＥＰとの３社による共同開発を行いました。さらに10月にはシスコ システムズ インクのグローバル エコパートナーとしても認定され、今後のより積極的な事業展開が可能となりました。

これらの結果、売上高は3億8百万円（同136.3%増）となり前年実績を上回りましたが、営業体制の強化等による経費の増加により、営業損失は2億18百万円（前年同四半期は1億67百万円の営業損失）となりました。

（情報サービス事業）

情報サービス事業におきましては、タッチ式ボイスリーダーペン（Ｕ－ＳＰＥＡＫ）を教育用ツールとして、アジア圏での普及と販路の開拓に引き続き注力しました。結果として、海外販売が増加したため、売上高は前年実績を大きく上回り、営業損失は大幅に減少しました。

これらの結果、売上高は1億34百万円（同183.7%増）、営業損失は15百万円（前年同四半期は73百万円の営業損失）となりました。

（２）連結財政状態に関する定性的情報

当第３四半期連結会計期間末の総資産は、現金及び預金の減少7億28百万円、受取手形及び売掛金の減少1億23百万円、商品の増加13億70百万円、前払年金費用の減少2億85百万円等により、前連結会計年度末に比べ2億51百万円増加して244億63百万円となりました。

負債は、支払手形及び買掛金の増加4億27百万円、賞与引当金の減少1億75百万円、退職給付引当金の減少9億2百万円、長期未払金の増加3億55百万円等により、前連結会計年度末に比べ4億16百万円減少して45億54百万円となりました。

純資産は、四半期純利益12億92百万円、利益配当金5億81百万円等により、前連結会計年度末と比較して6億67百万円増加し、199億8百万円となりました。

以上の結果、自己資本比率は、前連結会計年度末の79.5%から81.4%に増加しました。

（３）連結業績予想に関する定性的情報

平成23年10月28日に公表しました連結業績予想に変更はありません。

２．サマリー情報（その他）に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（在外子会社の収益および費用の換算方法の変更）

在外子会社の収益および費用は、従来、当該子会社の決算日の直物為替相場により換算しておりましたが、前連結会計年度より、期中平均為替相場により換算する方法に変更しております。そのため、前第３四半期連結累計期間と当第３四半期連結累計期間で、在外子会社等の損益の換算方法が異なっております。

これに伴う当第３四半期連結累計期間の損益に与える影響は、売上高2百万円、営業利益△1百万円、経常利益△1百万円、税金等調整前四半期純利益△2百万円であります。

３．四半期連結財務諸表
（１）四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成23年３月31日）	当第３四半期連結会計期間 （平成23年12月31日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,028	8,300
受取手形及び売掛金	245	122
有価証券	2,467	2,548
商品	3,556	4,926
貯蔵品	57	61
繰延税金資産	678	633
その他	319	256
貸倒引当金	△5	△38
流動資産合計	16,347	16,811
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,373	1,554
土地	907	907
その他（純額）	301	326
有形固定資産合計	2,583	2,788
無形固定資産		
のれん	217	199
その他	567	459
無形固定資産合計	784	658
投資その他の資産		
投資有価証券	2,322	2,377
前払年金費用	1,138	852
繰延税金資産	260	243
その他	788	744
貸倒引当金	△12	△12
投資その他の資産合計	4,496	4,204
固定資産合計	7,864	7,651
資産合計	24,212	24,463
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	940	1,367
未払金	1,651	1,628
未払法人税等	21	23
賞与引当金	358	182
その他	385	278
流動負債合計	3,356	3,480
固定負債		
売上割戻引当金	207	213
退職給付引当金	1,392	490
長期未払金	14	369
固定負債合計	1,614	1,073
負債合計	4,971	4,554

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成23年３月31日）	当第３四半期連結会計期間 （平成23年12月31日）
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,600	3,600
資本剰余金	4,897	4,897
利益剰余金	12,528	13,239
自己株式	△1,201	△1,295
株主資本合計	19,825	20,442
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△521	△457
為替換算調整勘定	△63	△75
その他の包括利益累計額合計	△584	△533
純資産合計	19,241	19,908
負債純資産合計	24,212	24,463

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
（四半期連結損益計算書）
（第３四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　平成22年４月１日 至　平成22年12月31日）	当第３四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年12月31日）
売上高	18,294	17,762
売上原価	9,134	8,798
売上総利益	9,159	8,964
販売費及び一般管理費	7,165	7,542
営業利益	1,993	1,422
営業外収益		
受取利息	22	20
受取配当金	1	1
雑収入	19	20
営業外収益合計	43	41
営業外費用		
支払利息	－	0
持分法による投資損失	5	2
為替差損	3	7
社宅解約損	0	1
その他	0	0
営業外費用合計	10	13
経常利益	2,026	1,451
特別利益		
持分変動利益	99	－
退職給付制度改定益	－	12
特別利益合計	99	12
特別損失		
固定資産除却損	3	13
投資有価証券評価損	5	－
たな卸資産評価損	180	－
災害による損失	－	86
特別損失合計	190	99
税金等調整前四半期純利益	1,935	1,364
法人税、住民税及び事業税	△18	10
法人税等調整額	28	62
法人税等合計	10	72
少数株主損益調整前四半期純利益	1,925	1,292
少数株主損失（△）	△78	－
四半期純利益	2,003	1,292

（四半期連結包括利益計算書）
（第３四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　平成22年４月１日 至　平成22年12月31日）	当第３四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年12月31日）
少数株主損益調整前四半期純利益	1,925	1,292
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	0	63
為替換算調整勘定	△27	△9
持分法適用会社に対する持分相当額	△12	△2
その他の包括利益合計	△39	50
四半期包括利益	1,886	1,342
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,964	1,342
少数株主に係る四半期包括利益	△78	－

（３）継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

（４）セグメント情報等

Ⅰ　前第３四半期連結累計期間（自平成22年４月１日 至平成22年12月31日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント					その他（注）１	合計	調整額（注）２	四半期連結損益計算書計上額（注）３
	国内レディースインナー等販売事業	海外レディースインナー等販売事業	ＬＥＤ照明販売事業	情報サービス事業	計				
売上高									
外部顧客への売上高	18,059	56	130	47	18,294	－	18,294	－	18,294
セグメント間の内部売上高又は振替高	9	－	8	－	18	－	18	△18	－
計	18,068	56	139	47	18,312	－	18,312	△18	18,294
セグメント利益又は損失（△）	2,416	△104	△167	△73	2,070	△0	2,070	△76	1,993

（注）１　「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業整理中の事業に係るものであります。

２　セグメント利益又は損失（△）の調整額にはセグメント間取引消去△0百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用76百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

３　セグメント利益又は損失（△）は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

（固定資産に係る重要な減損損失）

該当事項はありません。

（のれんの金額の重要な変動）

「ＬＥＤ照明販売事業」セグメントにおいて、事業譲受に伴い、当第３四半期連結累計期間において、のれん241百万円が発生しております。

（重要な負ののれん発生益）

該当事項はありません。

Ⅱ　当第３四半期連結累計期間（自平成23年４月１日 至平成23年12月31日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント					その他（注）１	合計	調整額（注）２	四半期連結損益計算書計上額（注）３
	国内レディースインナー等販売事業	海外レディースインナー等販売事業	ＬＥＤ照明販売事業	情報サービス事業	計				
売上高									
外部顧客への売上高	17,229	90	308	134	17,762	－	17,762	－	17,762
セグメント間の内部売上高又は振替高	15	－	－	－	15	－	15	△15	－
計	17,245	90	308	134	17,778	－	17,778	△15	17,762
セグメント利益又は損失（△）	1,790	△67	△218	△15	1,487	△0	1,487	△65	1,422

（注）１　「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業整理中の事業に係るものであります。

２　セグメント利益又は損失（△）の調整額にはセグメント間取引消去△1百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用66百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

３　セグメント利益又は損失（△）は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

（固定資産に係る重要な減損損失）

該当事項はありません。

（のれんの金額の重要な変動）

該当事項はありません。

（重要な負ののれん発生益）

該当事項はありません。

（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

（６）重要な後発事象

該当事項はありません。